

NECが3000人の黒字リストラ！

NECが増収増益の中でリストラ！

NECは1月末の2020年中期計画説明会で国内従業員3000人削減と工場再編を発表し、右のリストラ内容をNEC労組と合意しました。前回の「1万人リストラ」では国内正社員に限れば2000人でしたから、今回の3000人はその1.5倍です。対象者2万人全員と面談し、およそ7人に1人がリストラ目標ですから、大変な割合です。

増収増益の中のリストラに従業員から怒りの声が上がっています。

投資資金調達のためのリストラが許されるのか！

NECはリストラの目的を「グローバル競争を勝ち抜くために最低限利益率5%を確保し、投資原資を確保する」と言っています。NECが投資資金を調達するのなら、銀行か投資家から借りればいい話です。それを従業員の首を斬って投資資金を確保するのはブラック企業のやることです。創業120年電機の老舗のNECの品位はどこへ行ったのでしょうか。

リストラで経営は立て直せない

NECは「SGAを減らし利益率を5%にする」と2012年にリストラを行いました。右表の通りSGAを831億円も減らしたのに、営業利益を319億円も減らしてしまいました。

当時の社長は責任を取るところか会長のイスに納まり、その後継者が反省もなくまたリストラを繰り返そうとしています。しかも新野社長は5%の次は10%と言っています。際限のないリストラではNECが無くなってしまいます。

将来を見通した経営を！

NECはこの10年デバイス、パソコン、携帯などものづくりを中心に儲からないとみるとあっさり事業を切り捨ててきました。今やNECが何を作る会社か答えられない有様です。

ところが他社では、デバイス事業はソニー・三菱・日立・富士通等、携帯事業もソニー、富士通等が残っています。ソニーの携帯事業は赤字

3000人リストラの概要

- ・対象部門：間接部門及び2SBU
- ・対象者：45才以上及び勤続5年以上、2万人
- ・規模：国内正社員3000人
- ・施策：人財公募・グループ外求人・特別転進等
- ・転進加算：45-50才：34ヵ月等
- ・改善目標：SGA削減300億円（人件費分）
- ・日程：個人面談7~10月、退職日：12月28日
- ・工場閉鎖：一関工場、茨城工場 来年3月末

表 NECの業績推移

単位：億円

	2011	2016	前年差異	2017	前年差異
売上	30,368	26,650	-3,718	28,444	1,794
SGA	6,722	5,891	-831	6,217	326
SGA率	22.1%	22.1%	0.0%	21.9%	-0.2%
営業利益	737	418	-319	638	220
利益率	2.4%	1.6%	-0.8%	2.2%	0.6%

※SGA：販売費及び一般管理費（研究開発費除く）

でもIoT時代の自動運転とスマホの融合を見通して手放さないそうです。NECに必要なのは先を見通した戦略的経営ではないでしょうか。

ものづくりを手放した企業は衰退する

NECはもの作りから次々撤退し、今回の茨城・一関の工場閉鎖もその一環に思われます。

NECが成長分野と位置付けるAI、IoTはものづくりと密接に関係しています。ものづくりを手放しては勝ち抜けません。

NPS社は債務超過会社！

今回の株主総会開催通知の52ページで英国のセキュリティ会社NPS社の買収を報告しています。東洋経済によると、NPS社の2016年度の業績は売上245億、営業損益-10億、最終損益-36億円、超過債務額145億の会社で、それをNECが731億円の高値買いをしたと批判されています。しかもNPS社は投資ファンドに2回も買収と破綻を繰り返されたいわくつきの会社です。NECがこんな会社を買収していいのでしょうか。